

令和7年3月10日  
健康部健康推進課

## パブリックコメントの実施結果について

### 1 パブリックコメントの実施結果

#### (1) 実施期間

令和6年12月21日（土）～令和7年1月10日（金）

#### (2) 周知方法

- ・こうとう区報（令和6年12月21日号）に概要を掲載
- ・区ホームページに計画素案（全文）を掲載
- ・健康推進課窓口、こうとう情報ステーション、各保健相談所に計画素案（全文）の冊子を閲覧用に備えた

#### (3) 意見の提出方法

郵送、ファクス、区ホームページ

#### (4) 提出人数

15人（ファクス5人、ホームページ10人）

### 2 パブリックコメントで寄せられた意見

意見件数80件

意見要旨と区の考え方：次項以降参照

No.	意見要旨	件数	区の考え方
関連施策：1－1：身体活動・運動			
1	健康増進のため、豊洲スポーツセンターを設置してほしい。	1	スポーツ施設等の公共施設を新設するには、費用対効果等を十分考慮し、判断することが求められます。豊洲地区につきましては、用地確保等の課題もあり、現在のところ施設の新設は予定しておりませんが、引き続きスポーツ施設のさらなる充実に向けた方策について検討してまいります。
関連施策：1－2：たばこ・飲酒			
2	区民の健康を守るためにも分煙していくことは非常に重要と考えます。区としては喫煙所を整備していく予定はないのでしょうか。	2	分煙社会の実現のため、喫煙ルールの徹底やマナー・モラルの向上とともに、受動喫煙が発生しない喫煙所の整備に取り組む必要があると考えます。適切な場所の選定が難しいなど課題が多い状況ですが、民間事業者との連携など、様々な方法について検討してまいります。
3	公園や禁煙重点地区で喫煙する方が見受けられ、区としての対応を強化してほしい。	3	本区では、受動喫煙防止の観点から、令和4年1月1日より江東区都市公園条例にて指定喫煙所を除き区立公園を全面禁煙と定めました。各公園については、看板の設置や職員による喫煙者への注意を行うなど、喫煙マナー向上に努めています。今後も公園内の喫煙状況に注視し、環境改善に努めてまいります。
4	たばこのポイ捨てや喫煙禁止場所での喫煙などルールを守らない人には厳しい罰則を設けるなど、受動喫煙防止対策をもっと強化してほしい。	3	罰則で規制するだけではなく、喫煙者のマナー・モラルの向上も広げていくことが大切であり、区では、たばこの健康への影響や受動喫煙を生じさせない配慮の必要性、健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例の趣旨などについて周知を行っております。区民の皆様のご協力もいただきながら、今後も啓発に取り組んでまいります。

No.	意見要旨	件数	区の考え方
5	受動喫煙対策について、区内全域を重い罰則付きで禁煙にしてほしい。	7	受動喫煙防止に対する取り組みとして、区内全域で路上喫煙を禁止し、罰則を設けることは、制度として一定の効果がある一方で、喫煙環境の整備についても同時に取り組む必要があると考えております。今後、他区の状況を踏まえ、導入の適否を検討してまいります。
6	都条例の上乗せの区条例として、学校や飲食店内での喫煙を完全に禁止する条例制定をお願いしたい。	2	令和2年4月に全面施行された改正健康増進法・都条例については、施行後5年後に見直すこととなっており、区でもその動きを注視しております。現状区独自の条例を制定する予定はございませんが、引き続き、たばこが健康に及ぼす影響や受動喫煙を生じさせない配慮の必要性について啓発するとともに、喫煙率の減少に向けた普及啓発や、禁煙外来治療費の一部助成事業の実施等、禁煙希望者の支援の取り組みを行ってまいります。
7	私有地の広場、公開敷地等も禁煙にすべきだと思います。	2	健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例は、多くの方が利用する施設の屋内禁煙を原則としておりますが、屋外については病院や学校等の一部の施設の敷地内を除き、規制の対象外となっております。たばこの健康への影響や受動喫煙を生じさせない配慮の必要性については、法の趣旨に関する周知も併せて、引き続き啓発に努めてまいります。
8	個別の箇所で繰り返し受動喫煙が生じていることについて、江東区役所に対策や対応を求めたり、相談をする手段が一切ないので改善をしていただきたい。	4	個別のご相談については区長への手紙のほか、お電話等により発生場所の施設管理者や各担当部署で受け付け、状況に応じた対応を行っております。

No.	意見要旨	件数	区の考え方
関連施策：2－1：糖尿病・循環器疾患の発症予防と重症化予防			
9	循環器疾患の予防、早期発見のため、心エコー、心電図を含めた心臓検診を取り入れてほしい。	1	区では心臓検診の導入予定は今のところございません。自覚症状など気になることがあれば、早めに医療機関を受診いただくようお願いいたします。
10	学齢期（小学4年、中学1年）の小児生活習慣病予防健診を何らかの事情で受けられなかった子どもへのフォロー健診を実施してほしい。	1	生活習慣病予防健診は、毎年9月～10月頃に、各校にて原則小学4年生および中学1年生を対象に実施しています。当日やむを得ず欠席された児童・生徒のフォローとして、1月に2日間欠席者健診を行っています。
11	炭水化物ばかりとると肥満、生活習慣病につながるため、生活習慣病を予防したり、改善するため、減量方法や糖質制限など具体的な施策を実施してほしい。	1	正しい食生活を続けることは、生活習慣病予防はもとより、健康な体づくりの基盤であると考えます。保健所、保健相談所では「食と健康づくり教室」「食育応援講座」などの事業で正しい食生活のあり方について、講演、調理実習、運動、食事診断など様々なテーマで健康教育を行っております。今後も、食べることの大切さを身につけ、より良い食習慣を実践できる区民を増やすために、各世代に応じた事業の展開に努めてまいります。

No.	意見要旨	件数	区の考え方
関連施策：2－2：がんの予防			
12	<p>回数の制限なく肝炎検査を受けられるようにしてほしい。</p> <p>また、肝臓検診も受けられるようにしてほしい。</p>	1	<p>肝炎ウィルス検診は、健康増進法に基づく健康増進事業として、40歳以上で区の健康診査受診対象者に健康診査と同時に実施しています。また、特定感染症検査事業として、16歳以上39歳以下の方、及び40歳以上の国民健康保険・後期高齢者医療制度以外の健康保険加入者を対象に実施しています。どちらも生涯に1度の検診となっております。肝炎ウィルスは、通常の生活をしていれば、新たに感染することはないと言われています。そのため、1度は検査を受けていただき、その後は感染を防ぐ生活を心がけていただくことが大切です。</p> <p>区では肝臓検診の導入予定は今のところございません。自覚症状など気になることがあれば、早めに医療機関を受診いただくようお願いいたします。</p>
13	H P Vワクチンについて、もっとわかりやすく記載してほしい。	1	H P Vワクチンについて、計画書内に「コラム」として掲載しました。
関連施策：2－3：がんの早期発見の推進			
14	<p>がん検診については、メニューを増やしたり、項目を拡充することを望みます。</p> <p>がん検診有料化により検診控えをする区民が増えているので、無料化してほしいと思います。</p>	3	<p>本区のがん検診は、国が定める科学的根拠に基づく「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（以下、国の指針）に基づき実施しております。また、がん検診の有料化については、受益者負担の公平の観点から、本区では検診費用の1割程度の自己負担をお願いしております（生活保護受給者・住民税非課税者は無料）。ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p>
15	がん検診の予約をもっと取りやすくしてほしい。	1	がん検診の予約が取りやすくなるよう、検診実施医療機関の拡充など、より良い検診環境の整備に努めてまいります。

No.	意見要旨	件数	区の考え方
16	受診者の利便性を考慮して、がん検診が1ヵ所の医療機関で完結するようにしてほしい。	1	検診の専門性から、がん検診を江東区医師会へ委託しておりますが、区内医療機関の受け入れ体制もあり、同時に検診を実施できる医療機関は限られております。引き続き江東区医師会と協議を重ね、より良い検診環境の整備に努めてまいります。
関連施策：3－1：食に関する知識・選択力の向上			
17	「食育」という言葉や考え方について、詳しく記載してほしい。	1	食育について、計画書内に「コラム」として掲載しました。
関連施策：3－2：食に基づく健康習慣・実践力の向上			
18	食に関する取組について、小中学生などを対象とした具体的な取組を紹介してほしい。	1	「おいしいメニュークール」について、計画書内に「コラム」として掲載しました。
関連施策：4－3：高齢者の健康			
19	様々な理由で、歩けなくなった1人暮らしの高齢者のために、ボランティアか理学療法士の方が一緒に散歩をしてあげるなどの仕組みづくりをお願いしたい。	1	<p>【地域ケア推進課】ひとり一人の身体の状態に応じた、介護予防・生活支援サービスをご利用いただいています。高齢者の地域生活を支援する管轄の長寿サポートセンターにご相談いただき、対象者の方の生活状況等を確認しアセスメントを行ったうえで、利用できるサービスを案内しております。</p> <p>【介護保険課】介護保険サービスでは、リハビリや閉じこもり防止を目的として、通所介護、通所リハビリ及び訪問リハビリ等のサービスを利用することができます。</p> <p>なお、介護認定が要支援1・2の65歳以上の在宅のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯で、身体機能の低下やうつ・認知症により閉じこもり傾向にある方への外出支援を行う生活支援ホームヘルパー派遣事業を区独自に行っております。</p> <p>【福祉課】ボランティアについては、社会福祉協議会の協力会員（地域のボランティア）が通院、外出介助、車いす介助等の支援を行っています。</p>

No.	意見要旨	件数	区の考え方
20	高齢者も人間ドックを受けられるようにしてほしい。	1	本区では国民健康保険加入者・後期高齢医療の方等を対象に、生活習慣病等の予防及び早期発見、治療のための健診を無料で実施しています。本区の健診は国の定める特定健康診査の内容に沿って実施しており、その範疇を超える人間ドックは医療機関ごとにオプション項目などの対応で自費診療で実施している場合が多くあります。詳細は実施している医療機関へお問い合わせください。
関連施策：5-1：社会とのつながりとこころの健康			
21	ソーシャルキャピタルという言葉についてわかりやすく記載してほしい。	1	ソーシャルキャピタルについて、計画書内に「コラム」として掲載しました。
22	ウェルビーイングという言葉についてわかりやすく記載してほしい。	1	ウェルビーイングについて、計画書内に「コラム」として掲載しました。
関連施策：その他			
23	中央区のような「区民健康村」を開設し、区民の健康増進を推進してほしい。	1	本区では区民の心身の健康増進に寄与し、福祉の向上を図るため、鬼怒川、伊東、箱根、湯河原に民間の宿泊施設を借り上げて、保養施設借上事業を実施しています。今後も引き続き住民ニーズを踏まえた保養施設借上事業を行っていくことで、区民の健康増進に努めてまいります。
24	眼科検診を毎年受けられるようにしてほしい。	1	本区の眼科検診は、生活習慣病予防対策の一環として、眼疾患の早期発見・早期治療の促進を図り、区民の健康保持に資することを目的として実施しています。検診対象年齢については、江東区医師会と協議の上、50・55・60歳の節目年齢を対象としています。検診をきっかけに自分自身の眼の状態に关心を持っていただき、自覚症状がある場合は、早めに医療機関を受診いただくようお願いいたします。

No.	意見要旨	件数	区の考え方
25	骨粗しょう症検診を受けられるようにしてほしい。	1	骨粗しょう症の診断については、精度の高い検査が受けられる医療機関の受診をお勧めしています。保健相談所では骨粗しょう症予防について啓発を行っております。
26	HIV検査について、実施回数や実施場所の拡充をお願いしたい。	1	HIV検査は、本区では、月2回の例月検査と年2回の夜間即日検査を城東保健相談所において、予約なし例月検査の定員は20名・即日検査は60名として開催しております。また、保健所・保健相談所において電話等によるご相談にも応じ、適宜医療機関への相談や受診をすすめおります。HIV検査は他自治体においても匿名検査が多く、区内在住、在勤等問わないのでご都合に合わせて他自治体の検査をお受けいただくことも可能です。
27	保健所を湾岸部にも作り、赤ちゃんから高齢者、障害、虐待、育児相談などの身近な保健相談所を豊洲地域に作ってほしい。	1	保健所を新たに作る予定は現時点ではありません。 臨海部については、深川南部保健相談所が管轄しており、様々な保健相談事業や保健師による訪問相談などを実施しています。
28	昭和大学江東豊洲病院に血液・腫瘍内科がない状況を改善してほしい。 休日急病診療所を豊洲地区にも設置してほしい。	1	区民の安全安心を確保できるよう、昭和大学江東豊洲病院運営協議会などを通じ、必要な意見を述べてまいります。 休日急病診療所の増設につきましては、現在のところ、設置場所、運営等の諸課題があり、予定はございません。
29	生活保護申請窓口での不適切な対応が全国で問題視されています。 高齢者の生活保護受給は珍しくなく、必要な人が適切な支援を受けられるよう、江東区でも正しい情報提供と公正公平親身な対応をお願いしたい。	1	生活保護の相談については、相談者の困りごとや様々な事情についてお話を伺いしたうえで、生活保護法、生活困窮者自立支援法に限らず他法他施策の活用等についても案内し、相談者が真に必要としている制度やサービスに繋がるよう支援を行っています。

No.	意見要旨	件数	区の考え方
30	<p>児童精神科医による相談、診断体制を確立し、発達障害者への支援を強化してほしい。</p> <p>精神科や発達障害の診療を受けられる専門医療機関を区内に構築し、精神障害者に対する医療費助成制度を導入したり、精神障害者のいる家庭への支援を強化してほしい。</p>	1	<p>保健相談所では、精神科専門医による相談事業を実施しています。そのうえで必要な方に対しては、専門の医療機関や療育機関などの紹介を行い、関係機関・部署と連携した支援を行っています。</p> <p>精神通院にかかわる自立支援医療や精神障害者手帳の受給者の方への支援については、国や都の動向に合わせて取り組んでいきます。また、生活や療養上の悩みや困りごとについてはご本人だけでなく、ご家族についても、様々なサービスや制度を活用しながら個別に支援を行っていきます。</p>
31	<p>肥満、生活習慣病にならないよう、災害時の区の備蓄食料が炭水化物に偏らないようにしてほしい。</p> <p>肉や魚といったたんぱく質や野菜を取れるよう栄養バランスの観点から災害時の備蓄を見直してほしい。</p>	1	<p>災害時には、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、食物繊維などの栄養素が不足しやすい状況が考えられますが、区の備蓄食料は、アレルギーやハラル認証に配慮しながら、発災初期における生体機能を維持するためのエネルギーを確保することを目的に品目を検討しております。頂いたご意見を踏まえ、より望ましいものを引き続き検討してまいります。</p>
32	<p>散歩アプリを連携させたイベントを開催してほしい。</p> <p>生活習慣病予防や健康づくりなどのイベントを例えば図書館で開催するなど、場所の役割にとらわれずに工夫して開催してほしい。</p> <p>(参考としていただいた書籍等の情報も含む)</p>	33	<p>こうとう健康チャレンジ事業において、アプリ内でいろいろな機能で楽しく健康づくりに取り組めるよう工夫しています。</p> <p>また、各種イベントの開催場所や、ポスター・パンフレットの配布場所を工夫するなどして、情報の入り口を限定せず様々な方の目に情報が届くよう工夫してまいります。</p> <p>いただきました書籍等の情報につきましては、参考にさせていただき、より魅力的な取り組みとなるよう努めてまいります。</p>